

令和5年度業務報告

1 概況

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、通常の運営状況に戻りつつあるなか、施設及び設備の安全・快適・清潔な利用の提供ができるよう、利用者に対するサービスの充実とコスト管理の徹底に取り組み、管理運営業務を行いました。

県立劇場の指定管理業務については、第4期指定管理期間の最終年度となり、引き続き次期指定管理者として受託するための業務分析や検討作業を行うとともに、熊本県立劇場条例の趣旨に沿った事業計画の策定を進めた結果、令和6年度から5年間の指定管理者に指定されました。

施設運営面では、施設の老朽化に伴い、熊本県が策定している計画改修工事の一環として、館内の空調、電気及び照明設備等の更新工事が下期に実施され、両ホールの利用提供ができない期間がありましたが、施設の利用率は目標を上回りました。

文化事業では、山田和樹指揮「バーミンガム市交響楽団」による大型コンサートのほか、地域に開かれた共生の劇場として取り組んでいた「県劇盆踊り」を再開しました。

その他、県民参加の創作ステージ「県芸術文化祭オープニングステージ」や、社会包摂事業として知的・発達障がい児を対象とした「劇場って楽しい！」など、多彩なホール事業を上期に集中して実施し、下期は市町村ネットワーク事業や、演奏家派遣アウトリーチ事業など館外における事業活動を展開しました。

令和5年度の重点的な取り組みである、「人材育成」と「関係機関との連携」においては、音楽を通じた青少年の育成として、北部九州ジュニアオーケストラのミュージックキャンプや、演奏家派遣アウトリーチ事業の登録アーティスト選定に取り組んだほか、県内公立文化ホール職員の育成を図る研修プログラムの実施など、幅広い活動を展開してきたところです。

2 管理運営業務の実施状況

(1) 財団の活動

□評議員会、理事会

開催日	内容
4月21日 (金)	第72回理事会（決議の省略） 第1号議案 第55回評議員会（決議の省略）の招集 第2号議案 評議員選定委員会委員の選定
4月28日 (金)	第55回評議員会（決議の省略） 第1号議案 理事の選任 第2号議案 理事の選任（任期満了に伴う理事の再任）
5月15日 (月)	第73回 理事会 第1号議案 専決処分の報告及び承認（令和4年度収支予算の第3回補正） 第2号議案 令和4年度事業報告 第3号議案 令和4年度決算報告 第4号議案 令和5年度収支予算の第1回補正（案） 第5号議案 諸規程の改正及び廃止 第6号議案 第56回評議員会の招集 第7号議案 理事長及び常務理事の選任について 第8号議案 規程の改正
5月30日 (火)	第56回 評議員会 第1号議案 専決処分の報告及び承認（令和4年度収支予算の第3回補正） 第2号議案 令和4年度事業報告 第3号議案 令和4年度決算報告 第4号議案 令和5年度収支予算の第1回補正（案）
7月20日 (木)	第74回 理事会 第1号議案 公益財団法人熊本県立劇場中期運営基本方針（令和6年度～10年度）案 第2号議案 諸規程の改正 第3号議案 評議員選定委員会への評議員候補者の推薦及び同委員会の開催
11月10日 (金)	第75回 理事会 第1号議案 専決処分の報告及び承認（役員賠償責任保険契約） 第2号議案 令和6年度文化事業 第3号議案 評議員選定委員会委員の選任
令和6年 2月9日 (金)	第76回理事会 第1号議案 専決処分の報告及び承認（規程の制定） 第2号議案 令和6年度事業計画（案） 第3号議案 令和6年度収支予算（案） 第4号議案 諸規程の改正 第5号議案 役員等賠償責任保険契約の締結 第6号議案 第57回評議員会の招集 追号議案 事務局長の選任について
2月27日 (火)	第57回評議員会 第1号議案 令和6年度事業計画（案） 第2号議案 令和6年度収支予算（案）

3月22日 (金)	第77回理事会 第1号議案 熊本県立劇場副館長の選任 第2号議案 「子ども未来プロジェクト2025」準備資金取扱規程の制定
--------------	---

□監査

開催日	内容
5月6日 (土)	監事監査 (熊本県立劇場 監事)
6月2日 (金)	熊本県立劇場指定管理業務に係る実地調査 (熊本県 文化企画・世界遺産推進課)
12月18日 (月)	財政的援助団体等監査 (熊本県監査委員事務局)

□役員候補者選考委員会

開催日	内容
4月14日 (金)	第1号議案 役員候補者の選考 (辞任による後任者の選考) 第2号議案 役員候補者の選考 (任期満了に伴う理事の再任)

□評議員選定委員会

決議の日	内容
8月1日 (火)	(決議の省略) 第1号議案 評議員の選任 (辞任による後任者の選定)

□文化事業評価委員会

開催日	内容
12月22日 (金)	第1回文化事業評価委員会
令和6年 3月13日 (水)	第2回文化事業評価委員会

□熊本県立劇場事業評価検討委員会 (熊本県)

開催日	内容
7月4日 (火)	令和4年度第1回熊本県立劇場事業評価検討委員会 (指定管理者として出席)

□熊本県立劇場指定管理候補者選考委員会 (熊本県)

開催日	内容
10月4日 (水)	第2回企画振興部指定管理候補者選考委員会 (審査対象団体として出席)

(2) 県立劇場の使用の許可に関する業務

① 施設の利用状況

各施設の使用申請の受付および施設使用料の徴収事務に加えて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、施設の維持管理および運営に努めました。

令和5年度の利用率と来館者数は、以下のとおりです。

[利用率の目標と実績]

施設名	年間目標	実績	差
コンサートホール	73.0%	81.3%	8.3P
演劇ホール	81.0%	87.1%	6.1P

[来館者数の目標と実績]

	年間目標	実績	達成率
来館者数	252,000人	332,575人	132.0%

[ホール部分利用実績]

(単位：件)

利用部分	コンサートホール		演劇ホール	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
ステージのみの使用	14	12	8	11
ステージ1階(地階)客席、 ホワイエのみの使用	23	20	6	11
ホワイエのみの使用	21	23	3	3
合計	58	55	17	25

(3) 実演芸術を担う人材を育成し確保する業務

① 劇場人の育成

実演芸術を担う人材の育成を図る「劇場人育成プログラム」を開催しました。参加対象は、県立劇場職員を含めた熊本県公立文化施設協議会(以下「熊公文協」という。)加盟館の職員で、のべ92館240名が参加しました。

回	内 容	講 師	日程	参加者 (人)
1	概論 持続可能な地域社会のための文化政策 「文化芸術基本法を踏まえ公共ホールの役割 を考える」	静岡文化芸術大学 教授 片山泰輔	4/19(水)	34
2	舞台技術(1)保守点検・改修計画 「ホールの管理、保守点検の考え方、スケ ジュール管理、改修計画について考える」	(公財)埼玉県芸術文化振 興財団 シニアアドバイ ザー 山海隆弘	5/16(火)	35

3	ホール入門(1)危機管理 「文化施設における消防の重要性と注意点」	熊本市中央消防署	6/7(水)	40
4	舞台技術(2)舞台 「舞台機構操作、現場での安全管理とスタッフ体制」	北九州芸術劇場 テクニカルディレクター 中村国寿	7/5(水)	31
5	アートマネジメント(1)社会包摂 バリアフリー・多言語対応 「現場体験ワークショップ」	九州障害者アートサポートセンター 樋口龍二	7/12(水)	25
6	ホール入門(2)接客 「多様化するお客さまのニーズに応える接客」	(株)インソース九州支社 岩波美香	9/20(水)	16
7	舞台技術(3)音響 「音響の仕込み、音響の調整作業の体験」	びわ湖ホール 舞台技術部長 押谷征仁	10/30(月)	22
8	アートマネジメント(2)広報 「公演の運営と広報」	愛知県芸術劇場 広報・マーケティング部長 林健次郎	12/7(木)	17
9	アートマネジメント(3)法律 「文化芸術における著作権と法律」	骨董通り法律事務所 弁護士 岡本健太郎	R6. 2/17(土)	20

② 職員研修等実施状況

職員研修の充実を図り、職員一人ひとりの専門性や実践力の成長を促すため、年間計画を立てて研修を行っています。

令和5年度は、ハラスメント研修や心肺蘇生・AED研修、コンプライアンス研修等全職員を対象とした研修のほか、全国公立文化施設協会九州支部の業務マネジメントセミナーや公益法人会計セミナーといった専門性の向上を目的としたセミナー等計画的に受講しました。

(4) 県内公立文化施設および関係機関等との連携に関する業務

① 熊本県公立文化施設協議会

同協議会には令和6年3月末現在で35館が加盟していますが、県立劇場は会長館として県内全域の文化振興と舞台芸術のレベルアップを図るためさまざまな事業を行っています。

加盟館35館を県北・県央・県南の3ブロックに分け、地域ごとの課題を主体的に研究・解決することを目的として、ブロックごとの活動を強化しています。

上期に実施したブロック会議で、研修のテーマ、開催時期等について議論・調整を行い、下期にブロック毎の課題に応じた研修会を実施し、のべ18館42名が参加しました。



県南ブロック研修(牛深総合センター)

〔県立劇場備品の貸し出し〕

熊公文協加盟館からの要望に基づき、必要な備品の貸し出しを行いました。

貸し出し先	貸し出し備品等	期間
宇土市民会館	びょうぶ 鳥の子 (1 双)	10/20
熊本市民会館	演奏者用椅子 (100 脚)	12/26~27
宇土市民会館	舞台ドロップ幕 野面 (旧)、峠の山道 (旧) 2 本	R6. 1/27~28

そのほか、県外で開催される全国公立文化施設協会主催の研修に参加する際の旅費の一部を助成する全国公文協研修参加助成制度を活用して、10 館 12 名が研修に参加しました。加盟館からは限られた予算で運営している中小規模館にとっては有意義な制度であり、今後も継続してほしい等の意見が多く寄せられました。

〔県立劇場のチケットシステムの活用〕

熊公文協加盟館が実施する公演チケットの販売業務を県立劇場で受託し販売。昨年度より 5 件増の 25 件と増加傾向にあります。

オンライン決済やコンビニ発券が可能のため、利用者にとってチケットの入手方法が容易となり、利便性の向上につながりました。

公立文化施設	受託数(件)
益城町文化会館	7
宇土市民会館	7
荒尾総合文化センター	2
菊池市文化会館	2
八代市鏡文化センター	2
水俣市文化会館	2
玉名市民会館	1
八千代座	1
大津町文化センター	1

② 地域連携

□熊本市現代美術館・熊本デザイン専門学校

令和4年度に引き続き、地域のつながりをつくる「明後日朝顔プロジェクト」に参加しました。

同プロジェクトは熊本市現代美術館館長である日比野克彦氏が新潟県十日町筋平の集落の住民たちとともに2003年にはじめたもので、熊本デザイン専門学校生がオリジナルの朝顔棚を製作しました。

秋に朝顔の蔓を使ったリースを製作、熊本市現代美術館に展示しました。



熊本市現代美術館に展示したリース

□ゆめマート大江店

熊本県と㈱イズミの地域活性化包括連携協定に基づき、県内のゆめタウン、イオン、マックスバリュ各店舗に文化事業のポスターやチラシ設置等広報の協力を依頼しています。

ゆめマート大江店とは、県劇盆踊りでの出店協力、交通渋滞回避のための情報提供など、連携を図っています。

③ インターンシップ等受入状況

インターンシップや職場体験を積極的に受け入れる「くまもとキャリア教育応援団（熊本市）」に登録しており、熊本学園大学の長期研修（約3か月）をはじめとする各大学からのインターンシップや小学・中学・高校生の職場体験学習の受け入れ、バックステージツアーによる施設見学等を積極的に行っています。

上期は熊本県立大学、九州大谷短期大学から各1名、下期は熊本市立白川中学校、開新高等学校から各2名を受け入れました。



インターンシップ生のチケットもぎり体験

[インターンシップ等受入状況]

受入日	受入校
8/18~24	熊本県立大学／1名 (インターンシップ)
9/30~10/15	九州大谷短期大学2年／1名 (インターンシップ)
10/25~26	熊本市立白川中学校2年／2名 (職場体験)
11/6~9	開新高等学校2年／2名 (職場体験)

バックステージツアーでは、受け入れる学校等の要望に合わせた多彩なプログラムを企画しました。参加した子どもたちが音響・照明機器を操作するなど、学校教育の一環である総合的な学習の時間（自己の生き方を考える探求的な職場体験学習）への取り組みに寄与しました。



バックステージツアー 音響卓操作体験

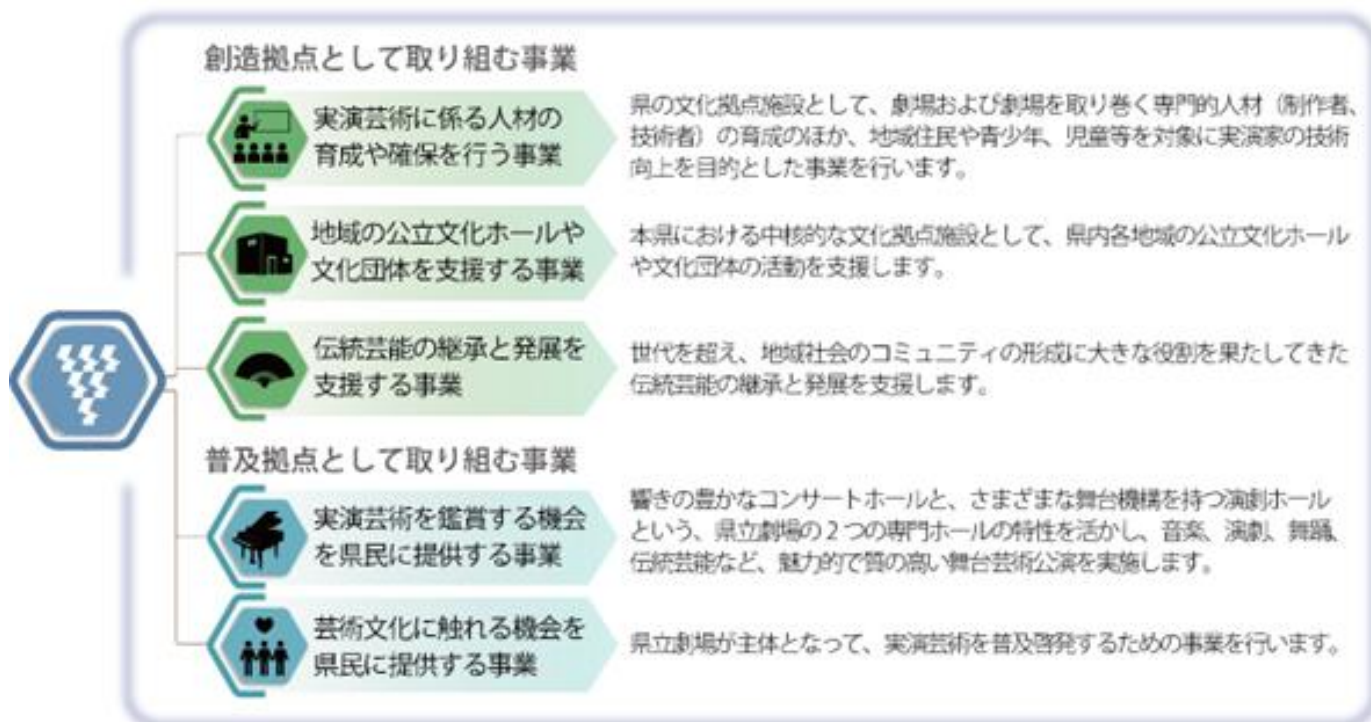
[バックステージツアー]

受入日	受入校
7/1	放課後等デイサービスあゆみ1~6年生／12人
7/6	熊本市立託麻原小学校2年生／106人
8/24	アフタースクールチョイス龍田校／22人
9/6	熊本市立大江小学校4年生／136人
9/15	熊本デザイン専門学校建築・インテリアデザイン科1年生／37人
9/19	熊本市教育支援センター「フレンドリーあいばる大江教室」、 オンライン学習支援「フレンドリーオンライン」／22人
10/6	熊本大学大学院先端科学研究部／8人
R6.3/18	障害者支援施設等（愛隣館ほか3施設）／19人

(5) 県民の文化の振興に必要な業務

① 文化事業の基本的な考え方

指定管理者事業計画書に掲げた下記の事業体系に基づき取り組んでいます。



また、県立劇場条例の一部改正により、実演芸術を担う人材の育成や実演芸術の振興のための関係機関等との連携強化が求められていることを受け、実演芸術家を育成する事業や、制作者や技術者といった専門人材育成に係る事業、関係機関との連携事業に重点的に取り組んでいます。

② 令和5年度に実施した主な事業

i) 第65回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「JAZZ ドリームバンド」

例年企画制作している県民参加の創作ステージとして、世界的トランペッターのエリック・ミヤシロをゲストに迎え、県内中学・高校生公募メンバーによるビッグバンドを結成。

県内の中高生 86 人が参加し、ミヤシロ氏らゲストの直接指導を受け、共演を果たしました。



芸術文化祭オープニングステージ

ii) 劇場人育成プログラム

制作者や技術者等、実演芸術を担う専門人材の育成に係る事業として、公立文化ホール職員向けの研修プログラム「劇場人育成プログラム」を継続実施しています。令和5年度は「保守点検・改修計画」「危機管理」「社会包摂」「音響」等、9回の研修を実施しました。

iii) 北部九州ジュニアオーケストラミュージックキャンプ

音楽を通し未来を担う青少年を育成することを目的に、「北部九州ジュニアオーケストラミュージックキャンプ」を実施しました。熊本と福岡、長崎、大分各県のジュニア/ユースオーケストラが県立劇場で交流する企画で、熊本からは熊本ユースシンフォニーオーケストラが参加。各地域で活動している青少年との交流を通じて、さらなる演奏技術の向上を図りました。

iv) 市町村ネットワーク事業

県内の公立文化施設と連携する「市町村ネットワーク事業」として、8市町で公演・ワークショップを実施。公演を鑑賞する機会の地域間格差は正に寄与しました。

v) 県劇盆踊り

地域に開かれた「共生の劇場」として、地域住民が気軽に立ち寄ることができる集いの場を創出することを目的に、「県劇盆踊り」を実施しました。邦楽の演奏家による生演奏で「牛深ハイヤ踊り」等を楽しむ、県劇ならではの企画です。

台風やコロナ禍で実施見送りが続いていましたが、5年度より再開、今後も継続実施する計画です。



県劇盆踊り

vi) 山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団

オーケストラ公演に最適な音響を持つ専門ホール・コンサートホールの響きを活かす事業として、「山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団」公演を実施しました。

熊本県内には常設のプロオーケストラがなく、海外オーケストラを招聘するプロモーターもないことから、県民が良質なオーケストラ公演に触れられる機会が限定されています。今後も県民の文化芸術鑑賞の殿堂として、質の高い海外オーケストラ招聘を再開し、可能な限り手頃な料金で鑑賞できる機会を提供します。

vii) 劇場って楽しい！！

障害の有無に関わらず舞台芸術に触れる機会を提供する事業として、知的・発達障がい児（者）に向けた劇場体験プログラム「劇場って楽しい！！」を実施しました。令和元年度にスタートした本事業は回を追うごとに参加者が増え、また多くの視察者も受け入れています。



劇場って楽しい！！

viii) 演奏家派遣アウトリーチ事業

市町村の学校等に演奏家を派遣し、音楽の出前授業を行う事業。年々実施希望が増え、令和5年度は12市町村82コマと過去最多の実施となりました。

ix) 登録アーティスト募集・育成事業

前記のアウトリーチ事業を担う演奏家を募集し、研修を経て登録アーティストに育成する事業。7人の応募があり、熊本県在住/出身の演奏家3人を採用しました。

[令和6年度・7年度登録アーティスト]



木原朱音（トランペット）



高木佳央理（ソプラノ）



中野絢寧（クラリネット）

③ 令和5年度文化事業の入場者・参加者数

令和5年度の目標入場者数 23,670 人に対し、入場者・参加者数は 25,277 人と目標を 6.8 ポイント上回りました。ほぼ計画通りに事業を実施し、集客も順調に推移しました。

④ 入場者アンケート

公演別の満足度では、「山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団」は 100.0%が「たいへん満足」「満足」と回答、そのほかの公演も 90%以上を軒並み超え、非常に高い満足度を得ました。

事業名	回答率 (%)	満足度 (%)
芸術文化祭オープニングステージ	33.4	99.3
山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団	19.8	100.0
ホワイエサロンコンサート vol.5 清原晏 箏リサイタル	43.3	98.7
ホワイエサロンコンサート vol.6 藤原道山×SINSKE	65.5	100.0
ホワイエサロンコンサート vol.7 現代音楽への誘い	46.2	96.0
劇場って楽しい！！	40.9	96.6
エブリ・ブリリアント・シング	65.0	98.8
Noism×鼓童「鬼」	48.1	96.1

⑤ 多様な財源の確保

文化庁の「地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業」、地域創造の「地域の文化・芸術活動助成事業」、全国公立文化施設協会のアートキャラバン助成事業の採択により 29,108 千円の助成金と、レジスター更新に伴う補助金（329 千円）と合わせ、計 29,437 千円余の助成金を獲得しました。

⑥ 自己評価

熊本県立劇場の行う文化事業について、県内有識者からの意見を聴取し文化事業を評価するため、平成30年度から文化事業評価委員会を設置しています。令和5年度は12月と3月に文化事業評価委員会を開催しました。

資料7 [文化事業評価委員会議事録] 参照

⑦ 個別文化事業の状況

資料8 [令和5年度文化事業] 参照

(6) 県立劇場の広報に関する業務

「伝える」「繋ぐ」「支える」をキーワードに、文化事業やホール・リハーサル室等のハード面だけでなく、県内文化芸術の創造・発信の中心を担う劇場としての使命感や働く職員の想い、また建築物としての魅力などを広く発信し、県立劇場への理解と協力を全県的に広げていきます。

公式ホームページ、広報誌、ポスター・チラシなどの印刷物、SNSメディアなど多岐にわたる媒体を通じ、これまで以上に県民との双方向のコミュニケーションを深め、文化交流の場となる「共生の劇場」を目指し、県民に愛される劇場としての「ブランド確立」と「来館促進」を図ります。

① 広報誌

広報誌のコンセプトを「つながる、ひろがる、あつまる ほわいえ」とし、これまで文化事業に偏っていた広報内容から、県立劇場の活動全般の情報発信を強化し、県民の県立劇場への理解を深めるよう発行作業を行っています。

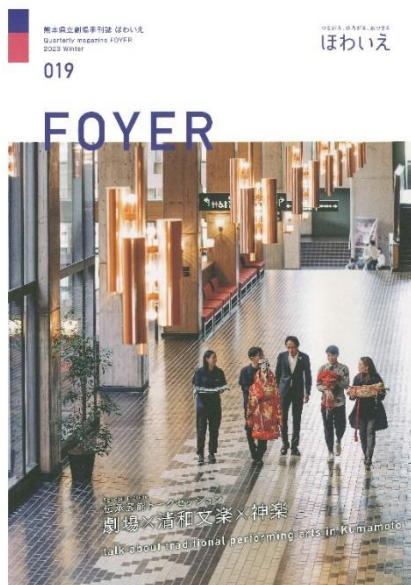
■熊本県立劇場マンスリーインフォメーション
(毎月15日、毎5,000部発行) *12~2月号は工事のため休刊

発行日	内容
4月15日(土)	5月号
5月15日(月)	6月号
6月15日(木)	7月号
7月15日(土)	8月号
8月15日(火)	9月号
9月15日(金)	10月号
10月15日(日)	11月号
R6.2月15日(木)	3月号
R6.3月15日(金)	4月号



■熊本県立劇場季刊誌ほわいえ（年4回、毎5,000部発行）

発行日	内容
6月20日(火)	2023 夏号 vol. 017 特集：県立劇場が取り組む「社会包摂事業」 事業：ホワイエサロンコンサート vol. 5、アウトリーチ事業
9月20日(水)	2023 秋号 vol. 018 特集：ようこそ広場へ「県劇盆踊り」 事業：みんなで踊ろう！～障がいのある人もない人も、一緒に踊るワークショップ Noism×鼓童『鬼』
12月20日(水)	2023 冬号 vol. 019 特集：伝承芸能トークセッション 劇場×清和文楽×神楽 お知らせ：改修工事に伴う施設の利用停止
令和6年 3月20日(水)	2024 春号 vol. 020 特集：劇場の未来を話そう 事業：2024 年度ラインナップ



Web版ほわいえ

年4回発行する季刊誌ほわいえは、web版の導入でバックナンバーの検索が容易になり、季刊誌が届かない人・場所への広報が広がり、より多くの人へのアプローチができるようになりました。

② 文化事業年間パンフレットの製作・配布

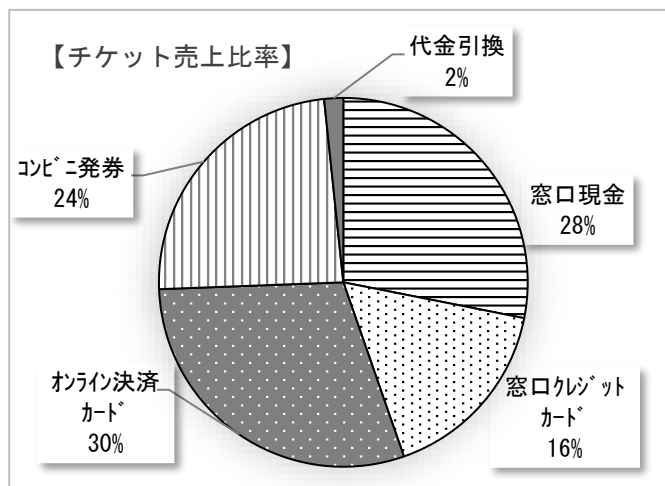
令和5年度の文化事業を紹介する年間パンフレットを製作。15,000部を県内外の公立文化ホールや公共施設、教育機関等に配布しました。



③ チケット販売実績

令和5年度のチケット販売実績は、4か月の改修工事の影響で昨年度の販売枚数、金額には届かなかったものの、上期の販売は好調でした。

特に、インターネット販売の占める割合は54%（昨年度比2P増）と昨年度に引き続き過半数を超え、定着してきたことが窺えます。



〔チケット販売実績〕

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
販売枚数	11,719 枚	13,958 枚	9,808 枚
販売金額	62,205,300 円	63,242,900 円	31,782,200 円

④ 先行予約会員制度

令和元年6月から先行予約会員に向け、文化事業のチケット先行予約販売を実施しています。

先行予約会員には、令和6年3月末で14,980人（令和5年3月末11,660人、3,320人増）が登録しています。

⑤ SNS登録会員数

SNS	令和5年度	令和4年度	令和3年度
Facebookのフォロワー数	2,045 人	1,906 人	1,625 人
X(旧Twitter)のフォロワー数	1,132 人	1,011 人	726 人
Youtube「ケンゲキアートチャンネル」登録者数	1,030 人	937 人	685 人

⑥ ホームページのリニューアル

令和5年度にデザインを一新し訪問者にとって必要な情報がすぐに探せるレイアウトに変更。

サイトマップも順次更新します。新着情報を掲載したほか、チケット発売・完売情報、公告などの情報発信を行いました。ホームページ(HP)の更新、SNSのアップ数は以下のとおりです。

SNS	令和5年度	令和4年度	令和3年度
ホームページ	68 回	41 回	62 回
Facebook	97 回	97 回	77 回
X	208 回	266 回	139 回

(7) 県立劇場の施設等の使用料の徴収および納付に関する業務

① 使用料の収納実績

県立劇場の使用料の収納については、県の会計規則に基づき、適正に納付を行いました。
令和5年度の使用料収入は、次のとおりです。

[施設使用料収納実績]

施設名	施設使用料 収入見込額	実績	達成率
設備使用料	104,279,000円	101,442,750円	97.3%
駐車場使用料	46,989,000円	56,125,600円	119.4%

② 代行業務・法人備品使用料の実績

令和5年度の代行手数料等の雑収入は、4か月の施設利用停止があったものの10,295千円を超え、前年度と比べ9.3ポイントの増でした。

なかでもプレイガイド業務は5,300千円を超え、県立劇場で開催される公演に留まらず、県内公立文化施設で行われる公演チケットの受託販売が件数・金額ともに増えています。

また、令和4年6月からスタートした舞台用インターネット回線利用サービス（有料）は、オンライン会議等で18件（前年度比7件増）の利用がありました。

[代行手数料等 収入実績]

項目	令和5年度	令和4年度
代行、付帯サービス		
プレイガイド業務（チケット登録・販売・代引・払戻）	5,305,039円	3,818,507円
各種手配（看板、調律、弁当、物販手数料等）、コピー等	941,202円	637,090円
自動販売機手数料	625,278円	527,017円
法人備品		
AV機器（DVDプレイヤー、音響機器）	42,130円	48,570円
映像機器（プロジェクター、カメラレンズ）	3,192,500円	4,136,080円
舞台備品（LED、照明・音響セット、インターネットほか）	128,560円	178,560円
事務所貸出（譜面台、クロス、椅子カバー）	61,230円	71,079円
合計	10,295,939円	9,416,903円

(8) 実演芸術の公演または発表のための施設等の提供を行う業務

① 業務打ち合わせ

ホールでの催事については、公演の約1か月前に主催者と施設サービス・舞台技術グループ職員が、舞台進行や舞台配置図及び使用備品の確認等の打ち合わせを行いました。令和5年度は128公演（前年度比45公演減）について実施しました。

② 舞台技術職員の弾力的な配置対応

舞台転換など演出が多様な公演では安全を確保しスムーズな舞台進行を行うため、必要に応じ最大5人までの舞台技術職員（舞台・照明・音響）を配置しました。令和5年度は94公演（前年度比30公演増）、のべ137人（仕込み、リハーサル日を含む、同比38人増）を増員しました。

③ モニタリング

公演終了後に利用者アンケートを実施し、ホール利用者の満足度と改善要望事項を個別に把握し、管理運営に反映させました。

また、日々の業務の中で直接寄せられる様々な意見は、「利用者記録（カルテ）」等により、利用者ニーズの把握及び情報共有に努めました。

資料6 [利用者アンケート] 参照

[利用者アンケート]

評価項目（4段階評価）	令和5年度 回収19団体	令和4年度 回収14団体
1 利用料金 〈4：安い 3：やや安い 2：やや高い 1：高い〉	2.7	2.6
2 利用手続き 〈4：円滑 3：概ね円滑 2：やや煩雑 1：煩雑〉	3.5	3.6
3 フロア職員の接客態度や対応 〈4：良い 3：概ね良い 2：あまり良くない 1：良くない〉	3.8	3.9
4 舞台職員の接客態度や対応 〈4：良い 3：概ね良い 2：あまり良くない 1：良くない〉	3.9	3.8
5 舞台・音響・照明の設備 〈4：良い 3：概ね良い 2：あまり良くない 1：良くない〉	3.9	3.9
6 また利用したいと思うか 〈4：ぜひ利用したい 3：利用してもいい 2：あまり利用したくない 1：もう利用したくない〉	3.9	4.0
平均	3.6	3.6

④ お客様の声・みなさまの声

館内にご意見箱を設置し「お客様の声」を、ホームページ内のコーナーで「みなさまの声」を収集しました。令和5年度の「声」は次のとおりです。

項目	件数	要望・ご意見・問い合わせ等（一部）
お客様の声	2件	接客対応の改善、コンサートへのご意見
みなさまの声	57件	交通アクセス、タクシー チケット購入方法、販売委託、手数料 公演に関すること（終演時刻、席種） 施設の予約、空き状況 忘れ物、落とし物、手荷物預かり 文化事業 ホールの残響

(9) 県立劇場の施設等の維持および修繕に関する業務

① 大規模改修工事

約4か月にわたって行われた改修工事では、設備類の更新をメインに行いました。なかでも正面玄関の照明を整備したことで、以前は暗いと感じられていた外廻りが明るくなったと好評です。

- ・コンサートホール舞台機構（迫り）更新
- ・コンサートホール舞台床研磨、塗装
- ・演劇ホール舞台照明の更新
- ・ホール内の空調騒音の解消
- ・大会議室の音響・照明設備の更新
- ・ピアノ庫、楽屋・控室前通路の個別空調の増設
- ・空調自動制御システムの更新
- ・非常用発電機の更新（屋外移設）
- ・屋外汚水、雨水排水設備の更新
- ・蓄電池設備の更新
- ・館内時計設備の更新
- ・音楽・演劇リハーサル室、和室の照明のLED化
- ・特殊照明設備のLED化
- ・外灯照明のLED化
- ・電力（高圧）引込開閉器の更新



正面プロムナード

② 施設設備の維持管理

県立劇場は、不特定多数が利用する大規模施設であり、劇場という施設の性質上、高い安全性と快適性の確保が求められています。適切なメンテナンスおよび修繕によりトラブルを未然に防止することで、施設利用の継続性を確保しています。

令和5年度は、計画的に樹木選定や伐採、植栽（6区画 約4,609千円）を行ったほか、設備や機器の更新、取換工事など、24件（約8,501千円）の施設設備の修繕工事を行いました。

[修繕実施状況]

区分	場所	内容
設備	コンサートホール	地階控室ファンコイル吹出器具取換（結露防止対策）
設備	コンサートホール	第6控室排煙口修繕（消防保守点検にて指摘）
施設	コンサートホール	ホワイエ扉固定磁石修繕
施設	演劇ホール	楽屋クローゼット扉塗装（経年劣化）
設備	大会議室	感知器不具合に伴う改修
施設	大会議室、モール コンサートホール後方	県立劇場内部壁面塗装
施設	両ホール、エントランス	椅子の布地貼替・ウレタン交換（全3回）
設備	管理棟事務所	事務所改修に伴う電話設備本設
施設	管理棟事務所	事務所前駐車場区画線、車止め設置、防水目地補修

施設	管理棟事務所	2F 執務室カーペット張替え
設備	地下2階監視室	ハロゲン化物消火設備修繕（消防保守点検にて指摘）
設備	地下2階監視室	機械室冷却水チャッキバルブ取換 （チャッキバルブ内プレート故障）
設備	地下2階監視室	冷温水発生機圧力センサー修繕
施設	車道出入口、バス停付近	樹木剪定
施設	東側	クスノキの剪定
施設	正面玄関プロムナード	樹木伐採と植樹
設備	有料駐車場	入出庫口カメラ（2台）（落雷）、屋外カメラ修繕
機器	有料駐車場	ゲートの修繕（落雷）
設備	1階事務所前ほか	女子トイレウォシュレット修繕他3件
設備	1階事務所前	女子トイレ掃除流し水漏れ修繕
設備	モール	多目的トイレウォシュレット修繕
設備	レストラン前	男子トイレ洗面台自動水栓修繕
設備	コンサートホール	下手男子トイレ洗面台水漏れ修繕
施設	搬入口	搬入口前駐輪場屋根補修（トラック接触事故による破損）

熊本県立劇場管理運営業務仕様書にある「県立劇場の施設・設備の維持及び修繕に関する業務」の各項目を確実に実施していくことに努めています。保守点検や修繕工事は、施設利用日数への影響が最小となるよう効率的に行っており、保守点検等委託業務にあたっては財団職員が監督し、細心の注意を払いながら実施しました。

[施設維持管理業務]

項目	内容
施設管理	清掃業務、建築物環境衛生管理業務、警備業務、庭園管理業務、設備運転監視・施設設備定期点検業務
空調管理	中央監視装置及び空調用自動制御機器保守点検業務、ボイラー排ガス測定業務、冷温水発生器保守点検業務、ヒートポンプチラー点検業務
設備管理(舞台)	迫り装置等保守点検業務、照明設備保守点検業務、吊物装置等保守点検業務、音響設備保守点検業務、エレベーター装置等保守点検業務
ピアノ	ピアノ・チェンバロ保守点検業務
設備管理	エレベーター保守点検業務、自動ドア装置保守点検業務、有料駐車場設備保守点検業務、自家発電設備保守点検業務、防災設備定期点検業務、防火設備定期点検業務、高圧電気設備定期点検業務、緊急ガス遮断設備等点検業務、給湯ボイラー点検業務、地下汚水ピット清掃業務、高架水槽清掃業務、飲料水水質検査業務、アスベスト濃度測定業務、建築物定期点検(3年ごと)、建築設備定期点検業務

③ 危機管理の対応

災害発生時には多大な被害が発生することが予想されるため、日頃から劇場職員の危機管理に関する知識の習得と意識の向上をはじめ、以下を実践しています。

- 公演本番時に危機管理責任者および危機管理担当者を配置
- 緊急事態に備え、危機管理体制表に基づき主催者と連携し、来館者の安全を確保
- 消防訓練や避難訓練など、危機管理に関する訓練および研修の実施

[訓練実績]

実施日	項目	概要
6月7日(水)	消防訓練	中央消防署員立会いのもと、事務局、舞台スタッフ、主催者、観客に分かれ公演中の火災を想定した消防訓練。
9月26日(火)	心肺蘇生・AED基礎講習	日本赤十字社熊本県支部より講師を招き、心停止の予防、心停止の早期認識と通報、一次救命処置について実技を交えた講習。

(10) その他、県立劇場の管理上必要と認める業務

① 便益設備の管理

県立劇場内に自動販売機を事務所前と地下1階リハーサル室前に計3台設置しているほか、利用者向けにデジタルフルカラー複合機1台を事務所前に設置、利用者の利便性を確保しました。

② 行政財産の目的外使用に係る経費の取扱い

県立劇場内の行政財産の目的外使用（レストラン、自動販売機等）に係る光熱水費については、翌月1日に使用量を計算し各業者に請求書を発行しています。各業者からは請求書に基づき、翌月末日までにその費用を徴収し、遅滞なく電力会社等に支払いました。

③ 交通誘導整理員の配置

県立劇場で開催される催物の開演・終演前後で劇場駐車場及び周辺道路の混雑が予想される際は、予め交通誘導整理員を配置し来場者の安全確保を図りました。今年度は45回、90人の整理員を配置しました。

また、終演後一斉出庫により混雑が予想される場合も、誘導員を配置して駐車場内の整理を確実にし、渋滞緩和対策を行いました。